

大学及び大学共同利用機関における学術研究設備の今後の整備の在り方について — 中間まとめ — の概要

大学等における研究設備の現状

現状と分析

- ①研究設備の現状を特徴と組織で区分して整理
国際対応大型：大学共同利用機関
専用大型：全国共同利用の附置研究所等
汎用大型：学内共同利用の研究施設等
基盤型：専用研究施設等
- ②アンケート調査による分析
(購入金額、共同利用、分野別)

基本的な考え方

- ①基盤的な研究設備の計画的な整備の推進
- ②先導的な研究設備の重点的な整備・充実
- ③研究設備の共同利用の積極的推進
- ④研究設備のレンタル等による導入の促進と維持管理の改善

研究設備を取り巻く課題

法人化後において生じている問題等

- ・設備の整備・更新と共に施設の整備・改修が困難
- ・設備老朽化による保守・修繕費や運転経費の増大により研究費を圧迫
- ・人文系の設備や研究支援の設備は学内の理解が得にくく、優先順位も低い
- ・全国共同利用の設備の整備・充実に係る学内理解や高順位要求が難しい
- ・既存設備の効率的な再利用やスペース確保のための撤去が経費不足
- ・設備の相補的・相互利用システムなど施設設備の有効利用を図れる関係機関連携ネットワークの不備・不足

競争的資金等によるプロジェクト終了後のフォローアップ等の要望

- ・プロジェクト終了後、更なる研究展開を図るための維持管理費等の支援
- ・COEなどで整備された中核的設備群を発展的に支援する仕組み
- ・プロジェクト終了後ほとんど使われない研究設備の他の研究者への開放

研究設備の役割とその整備の方向性

役割

- ★国際的な共同研究拠点となる大型研究設備
(国際対応型、専用型)
- ★独創的・先端的研究のための大型研究設備
(国際対応型、専用型、汎用型)
- ★共同利用、研究基盤・支援のための研究設備
(専用型、汎用型、基盤型)
- ★地域・社会貢献、国家戦略に資する研究設備
(専用型、汎用型)

方向性

- ★我が国の学術研究水準の維持・向上に不可欠な研究設備の整備
- ★研究者コミュニティの強い要望等を踏まえた研究設備の整備
- ★特定の分野に偏らないバランスのとれた研究設備の整備
- ★人文系や研究支援等に必要の研究設備への配慮

今後の研究設備にかかるシステムの在り方

新たなルール作りの必要性

- ★国が支援すべき対象範囲
- ★国と法人の負担割合
- ★大学間連携等による研究設備群の形成
- ★レンタル・リース方式の促進
- ★再利用（リユース）の推進

新しい整備システムの導入の必要性

- ★設備費、維持費、人件費、建物整備費をセットにした予算システム
- ★競争的資金等の経費と連携した設備導入システム
- ★既存設備の学術上の有効活用を促すための経費支援システム
- ★設備更新の改善のためのレンタル・リース支援システム

まとめ

H18年度概算要求に向けて検討すべき事柄

- ★連携共同利用設備群（仮称）の形成
大学間連携等による研究設備群の形成を支援
- ★分野融合型設備群（仮称）の形成
分野融合など新たな研究領域に対応する基盤となる研究設備群の形成を支援
- ★再利用（リユース）の推進
既存設備の学術上の有効活用を促すための経費を支援

国立大学法人（大学共同利用機関法人を含む）
計画的整備（設備マスタープラン）に基づく要求が前提

大学共同利用機関法人
研究者コミュニティのニーズを踏まえ、継続的かつ適正に運転・維持管理、改良、改造等が行われることが重要であることに留意

今後の学術研究を推進する上で継続的に検討すべき事柄

- ★H18年度概算要求に向けて検討すべき事柄の更なる検討
- ★中間まとめで指摘した事柄の中・長期的な視野で検討

実現可能なものは、順次、制度化していくことが肝要